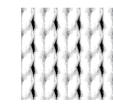
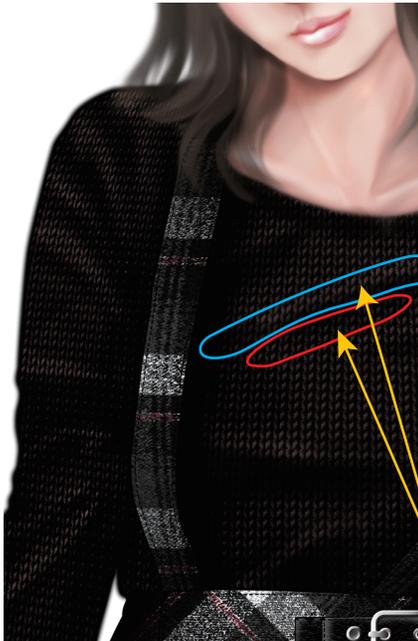


photoshop でスタイル画を描く。

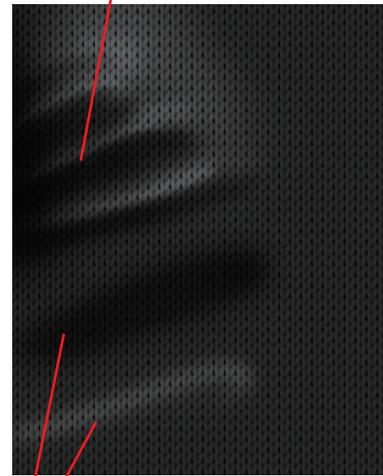
シワをリアルに表現する。
ニットのテクスチャーを作成しシワを入れてみる。



ベースのニットを中間色とした際に
焼きこみツールでシャドウを描き、
すぐ上に覆い焼きツールでハイライトを描く。
シャドウとハイライトを隣り合わせて
使う事により凹凸感が生まれる。
実際にスタイル画のニットは
真っ直ぐなテクスチャーなのだが
シャドウとハイライトを
入れたことにより
ニット自体もシワに合わせて
歪んでいるように見える。

シャドウとハイライトはセットで使う！

シャドウ・ハイライトをセットで使った方が
簡単に凹凸感を表現できる。



シャドウ単独ハイライト単独ではあまり凹凸感が無い！



シャドウ、ハイライトを
セットで使うと
簡単に凹凸が表現出来る。
この場合更に中央を
覆い焼きで明るくし
両端を焼きこみで暗くした。



シワの感じをより分かりやすく説明するために
ニットのコントラストを上げてみた。

このスタイル画はクライアントの要求により
極力リアルに仕上げる様に作成したのだが、
実際この様な技法を用いてまで
描く必要性に対しては疑問を感じる。
ファッションデザイナーは絵描きではないので
ここ迄する必要は無いと筆者は思う。
これはあくまでシワ表現の参考として見て頂きたい。